

札幌医第 1326 号
札幌医事三発第 21 号
令和 7 年（2025 年）2 月 7 日

市内医療機関管理者 様

札幌市長 秋 元 克 広
札幌市医師会 会長 今 眞 人

災害時における在宅酸素療法患者の受入に係る協力の依頼について

時下、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より本市の保健医療行政に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

札幌市では、平成 30 年の北海道胆振東部地震における大規模停電（ブラックアウト）の経験を踏まえ、在宅酸素療法（HOT）患者が災害等による停電発生時でも酸素吸入を継続できる体制を整備するため、札幌市医療体制審議会災害医療体制検討部会等での検討を進めており、令和 7 年度の運用開始を目指しております。

市内の HOT 患者数は約 1,700 人以上と推定され、大規模な停電発生時には、平時の HOT 患者の診療の有無によらず、酸素の提供に多くの医療機関の御協力が必要となります。

つきましては、大規模停電発生時における HOT 患者への酸素の提供について、貴医療機関の御協力を賜りますよう、御検討をよろしくお願い申し上げます。

併せて、御多用のところ恐れ入りますが、御協力の可否について、別紙のとおり御回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：札幌市保健福祉局ウェルネス推進部医療政策課 佐々木、千葉
〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 1－7 ORE 札幌ビル 7 階
TEL:211-3517 FAX:211-3521
Mail: iryoukikaku@city.sapporo.jp